

ガンビア共和国

平成 19 年度貧困農民支援 (2KR) 調査報告書

平成 20 年 3 月
(2008 年)

独立行政法人国際協力機構
無償資金協力部

無償

JR

08-024

序 文

日本国政府は、ガンビア共和国政府の要請に基づき、同国向けの貧困農民支援に係る調査を行うことを決定し、独立行政法人国際協力機構がこの調査を実施しました。

この報告書が、本計画の推進に寄与するとともに、両国の友好親善の一層の発展に役立つことを願うものです。

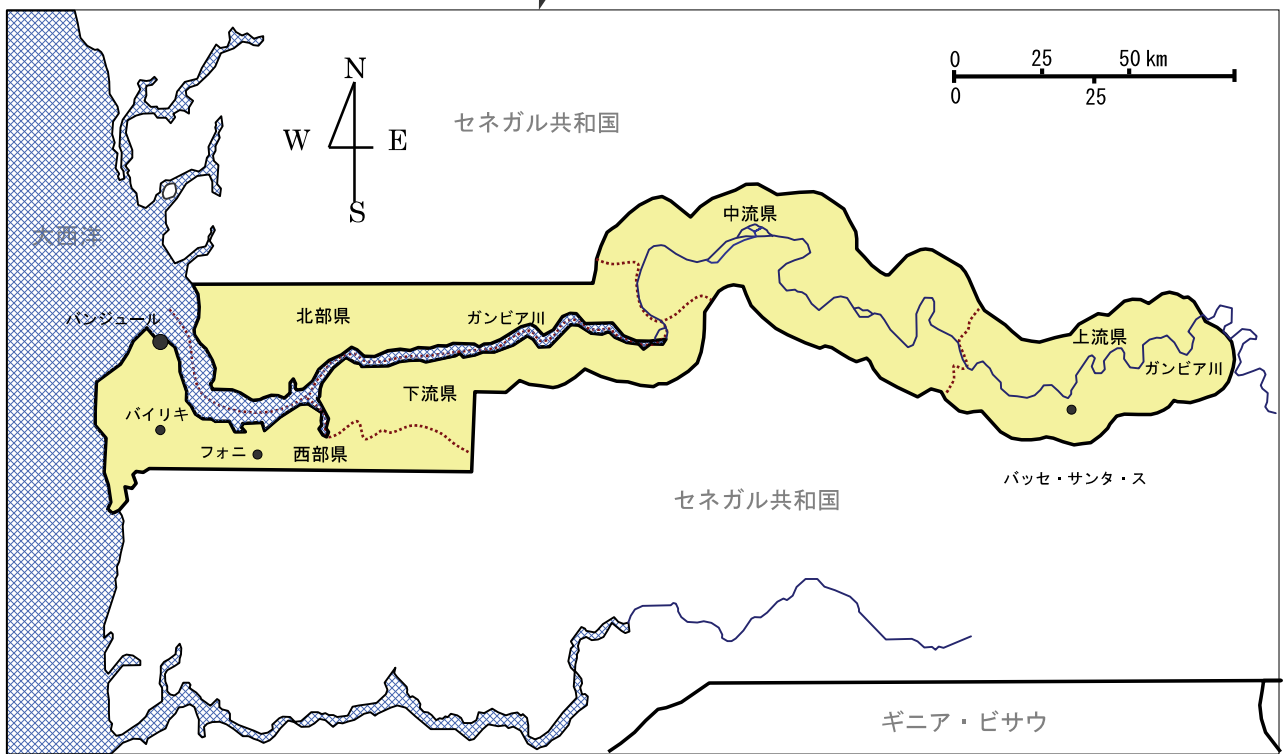
終りに、調査にご協力とご支援をいただいた関係各位に対し、心より感謝申し上げます。

平成 20 年 3 月

独立行政法人 国際協力機構
無償資金協力部長 中川 和夫



アフリカ地域図



ガンビア共和国全体図

目 次

位置図

図表リスト

略語集

第1章 当該国における2KR援助の実績、効果	1
1-1 実績	1
1-2 効果	1
(1) 食糧増産面	1
(2) 貧困農民、小規模農民支援面	1
第2章 案件概要	3
2-1 目標及び期待される効果	3
2-2 実施機関	3
2-3 要請内容及びその妥当性	3
(1) 要請品目・要請数量・対象作物・対象地域	3
(2) ターゲットグループ	5
(3) スケジュール案	6
(4) 調達先国	6
2-4 実施体制及びその妥当性	7
(1) 配布・販売方法・活用計画	7
(2) 技術支援の必要性	8
(3) 他ドナー・技術協力等との連携を通じたより効果的な貧困農民支援の可能性	8
(4) 見返り資金の管理体制	8
(5) モニタリング評価体制	9
(6) ステークホルダーの参加	9
(7) 広報	10
(8) その他（新供与条件について）	10
第3章 結論と提言	11
3-1 結論	11
3-2 課題・提言	11

添付資料：対象国農業主要指標

図表リスト

〔表〕		
表1-1	「ガ」国向け2KR援助実績概要	1
表1-2	作物種別の耕作面積	2
表2-1	「ガ」国の国家予算総額と農業省の予算	3
表2-2	要請品目、数量及び対象作物	4
表2-3	各肥料の必要量	5
表2-4	「ガ」国における至近の見返り資金（2KR）の積立実績	9
〔図〕		
図2-1	作物別栽培カレンダー	6
図2-2	肥料の販売/見返り資金回収の流れ	7

略語集

2KR	: Second Kennedy Round / Grant Aid for the Increase of Food Production / Grant Assistance for Underprivileged Farmers	貧困農民支援 / 食糧増産援助
CU	: Credit Union	貯金組合
DOSA	: Department of State for Agriculture	農業省
DOSFEA	: Department of State for Finance and Economics Affairs	財務・経済省
E/N	: Exchange of Notes	交換公文
FAO	: Food and Agriculture Organization of the United Nations	国連食糧農業機関
KR	: Kennedy Round / Food Aid	食糧援助
MDG	: Millennium Development Goals	ミレニアム開発目標
NADA	: National Agricultural Development Agency	国家農業開発局
NGO	: Non Governmental Organization	非政府組織
OECD	: Organization for Economic Co-operation and Development	経済協力開発機構
PRSP	: Poverty Reduction Strategic Paper	貧困削減戦略文書
UNDP	: United Nations Development Program	国連開発計画
USD	: United States Dollar	米ドル
VISACA	: Village Saving And Credit Association	村落預貯金協会
WFP	: World Food Program	世界食糧計画

単位換算表

面積

名称	記号	換算値
平方メートル	m ²	(1)
ヘクタール	ha	10,000
平方キロメートル	km ²	1,000,000

円換算レート (2008年1月末日時点)

Dalasi 1 (1 Gambia Dalasi / ガンビアダラシ) = 約4.88円

USD 1 (1 United States Dollar / 米ドル) = 約107円

第1章 当該国における2KR援助の実績、効果

1-1 実績

「ガ」国に対する2KRは1985年度から2006年度実施された（各年度の供与実績は表1-1参照）。供与総額は22.3億円であり、肥料、農薬及び農業機械が調達された。農薬は主にバッタに対する国家防除目的の殺虫剤である。農業機械は乗用トラクター、歩行用トラクター及び脱穀機等であり、主にDOSA（農業省）の農業機械化センターにより、中小農民に対し賃貸された。

表1-1 「ガ」国向け2KR援助実績概要

年度	1992 以前	1993	1998	1999	2000	2001	2006	合計
E/N額 (億円)	12.5	2.0	1.5	1.5	1.7	1.7	1.4	22.3
調達品目	肥料/農機 /農薬	農機/ 農薬	肥料/ 農機	肥料/農 機/農薬	肥料/農 機/農薬	肥料/農 機/農薬	肥料	

(出所：JICS データベース)

1-2 効果

(1) 食糧増産面

農業は自然条件、土壌条件及び水利環境等の様々な外部要因に左右されるものであるため、2KR援助の貢献部分だけを取り出し定量的に評価することは困難であるが、2006年11月に行われた2006年度現地調査において、2KRを評価する見解が示された。

DOSA へのインタビューによれば、調達された農薬は、バッタ駆除のための国家防除により使用され間接的に食糧増産に貢献した。また、農業機械の供与により農地の拡大及び中小規模の農民の農業生産性の向上に貢献した。肥料使用に関しては「ガ」国では肥料の入手が困難なことから少量の肥料を使用することで増収を達成することが可能となるとしている。

また、2KR肥料を使用した農民へのインタビューでは、肥料を使用することにより、明らかな増収の経験を有しているとのコメントがあり、一定の増産効果があると評価することができる。

(2) 貧困農民、小規模農民支援面

「ガ」国の2005年の一人あたりGDPは1,921米ドルであったが、国民の59.3%が1日1米ドル以下で生活している¹。農村人口は総人口の約75%であるが、農業セクターのGDPに占める割合は32.8%ある²。貧困農民の明確な定義は「ガ」国にはないが、農民の多くが貧困状態で生活していると推定される。

DOSAは、農地の面積により、5ha未満を耕作している農民を小規模農民、5ha以上10ha未満を中規模農民、10ha以上を大規模農民と規定している。「ガ」国の耕地の80%以上を小規模農民が使用しており、主にミレット、イネ、落花生、トウモロコシを生産している（表1-2参照）。

¹ UNDP 「Human Development Reports 2007/2008」

² CIA 「The World Fact Book」

表 2-1 作物種別の耕作面積

単位 : ha

耕地面積	作物種							合計	割合
	ミレット	ソルガム	トウモロコシ	陸稲	水稲	落花生	その他		
5ha 未満	116,353	7,805	17,981	11,356	6,341	116,073	3,520	279,429	83%
5ha 以上	10,723	15,145	9,595	115	—	21,203	155	56,936	17%
合計	127,076	22,950	27,576	11,471	6,341	137,276	3,675	336,365	100%

(出所 : DOSA)

「ガ」国では肥料・農業機械等の農業資機材を自国生産しておらず全て輸入に依存しており、近年のガンビアダラシの下落³や外貨不足により民間市場において調達が困難となり、その価格は高騰傾向にある。そのため購買力が乏しい貧困農民・小規模農民は農業資機材の入手に支障を来している。

このような状況をふまえ DOSA は 2KR 肥料の販売にあたり、民間市場に比し安価な価格を設定しており、現金収入の少ない貧困農民・小規模農民が肥料を購入できる貴重な機会を提供している。先の農民のコメントのように肥料使用による増収が確認されていることから、余剰生産物の売却による現金収入の向上に裨益しているものと思料する。

また、DOSA は、貧困農民・小規模農民による 2KR 農業機械の直接購入が困難であることから、貧困農民・小規模農民に対し農業機械の賃貸サービスを行っており、その賃貸料は 600 ダラシ/ha (約 2,900 円)⁴に設定されている。DOSA による農業機械の賃貸は貧困農民・小規模農民のニーズに見合ったものであり、農作業時の農家の負担軽減のみならず、農作業を適期に行うことで一定の収量を確保し、農業生産性の向上による貧困農民・小規模農民の所得向上に貢献しているものと思料する。

³ 対円レート 2001 年 2 月 7.78 円に対し、2008 年 1 月現在 4.88 円と 37.3 % の下落。

⁴ 2006 年度現地調査にて聴収。

第2章 案件概要

2-1 目標及び期待される効果

「ガ」国の上位計画である VISION 2020 は、国民所得レベルを 2020 年までに中所得国相当とすることを目標としており、農業分野を重要視している。食糧生産の多様化による自給率及び食料安全保障の達成、食糧輸出による外貨獲得、農村における雇用創出と所得増加等が、農業分野の目標として示されている。

しかしながら、「ガ」国は、他の西アフリカ諸国との比較において、ガンビア川兩岸の恵まれた水利条件であるにも関わらず、肥料・農業機械等の農業資機材の不足、肥料へのアクセスが困難なことや灌漑の不整備等の諸要因により、全般的に農業生産は停滞している。

本年度の要請書によれば、2KR により期待される効果として、肥料の使用による収量の増加と生産量の増加、農業機械の使用による収穫面積の拡大、脱穀機の使用による収穫物ロスの減少等があげられている。

また、2KR は「ガ」国政府の食料安全保障及びコメの自給率達成政策に沿っており、さらには、農業生産の増加は農民の貧困削減及び飢餓緩和に寄与するものと思われる。

2-2 実施機関

本件における要請策定及び計画が実施された場合のとりまとめと関係機関の調整を行う機関は、DOSA である。本件においては DOSA の他に DOSFEA（財務・経済省）も見返り資金使用に関する承認を担当している。

DOSA 内での本件の担当部署は DOSA の下部組織である NADA（国家農業開発局）である。

「ガ」国政府における 2006 年度の国家予算総額と DOSA の予算を表 2-1 に示す。

表 2-1 「ガ」国の国家予算総額と農業省の予算

(単位：10,000ダラシ)

項目/年度	2003	2004	2005	2006
農業省予算	5,300	4,720	6,880	6,480
国家予算	165,625	224,762	245,714	249,231
農業省予算の対国家予算比	3.2%	2.1%	2.8%	2.6%

(出所：「ガ」国国家予算報告書)

上表が示すとおり、2006 年における国家予算は 249,231 万ダラシ（約 122 億円）であり、このうち、DOSA の予算額は 2004 年度に減少したものの、2005 年度には増加に転じており、2006 年には 6,480 万ダラシ（約 3 億円）となっている。国家予算に占める DOSA 予算は 2%台と全体に占める割合は小さい。

2-3 要請内容及びその妥当性

(1) 要請品目・要請数量・対象作物・対象地域

1) 要請品目・要請数量

要請品目・要請数量・対象作物については、表 2-2 のとおりとなっている。

表 2-2 要請品目、数量及び対象作物

要請品名		要請数量	対象作物
肥料	尿素 46%N	2,750 MT	イネ、ミレット、トウモロコシ
	NPK 15-15-15	1,995 MT	イネ、ソルガム、落花生
農業機械	歩行用トラクター（2WD）12HP	50 台	イネ
	乗用トラクター（4WD）65-80HP	10 台	イネ
	ディスクハロー	10 台	イネ
	ディスクプラウ	5 台	イネ
	脱穀機	20 台	イネ

（出所：DOSA）

① 要請品目の妥当性

イ) 肥料

要請された尿素と NPK 15-15-15 は同国で一般的に使用されている肥料である。主に尿素は元肥として、NPK 15-15-15 は追肥としてそれぞれ使用されている。対象作物においても 2 つの肥料は使用されており、使用法も広く認知されている。

また、2006 年度の現地調査時に、農業普及員にインタビューを実施したところ、配布方法、配布量等を把握しており、肥料の適正使用の普及等の点で問題はない。

ロ) 農業機械

2006 年度現地調査で、以下の理由から農業機械の調達を見送った。

- ・ 「ガ」国内に農業機械のメーカー直営代理店がないことから高度な農業機械においては維持管理・アフターセールスサービス体制が十分ではないこと。
- ・ 農業機械の賃貸料が 600 ダラシ/ha（約 2,900 円）に設定されており、オペレーションコストを勘案すると賃貸料が赤字となり、DOSA の財政負担となること。
- ・ 賃貸料が低額となっていたため十分な見返り資金の積立ができなかったこと。

これらの問題は現時点においても解決されていないため、今年度についても 2KR による農業機械の調達を見送ることとする。

② 要請数量の妥当性

「ガ」国では、使用されている農業資材は全て輸入されており、肥料も例外ではない。ガンビアダラシの下落や外貨不足により、8 万～9 万トンと推定されている肥料需要の 10% 程度しか供給できていない状況である。2006 年度現地調査時に行われた FAO（国連食糧農業機関）等の国際機関、台湾技術公社等の二国間援助機関及び末端における農民とのインタビューにおいても肥料の慢性的な不足が確認された。

本件の要請数量は、同国の対象作物を生産する貧困農民・小規模農民の肥料必要量の一部である。肥料必要量は、表 2-3 に示すとおり、作物ごとの作付面積に DOSA が推奨する 1ha あたりの施肥基準をかけて算出された。要請数量は、必要数量の尿素においては 11.3%、NPK 15-15-15 で 6.7%となり、妥当である。

表 2-3 各肥料の必要量

1. 尿素

対象作物	作付面積(ha)	対象面積(ha)	施肥基準(kg/ha)	施肥回数	必要量(t)	要請数量(t)
	(A)	(B)	(C)	(D)	$(E) = (A) \times (C) \times (D) / 1,000$	$(F) = (B) \times (C) \times (D) / 1,000$
イネ	16,607	2,750	250	2	8,303.5	1,375.0
ミレット	123,149	10,000	100	1	12,314.9	1,000.0
トウモロコシ	24,200	2,500	150	1	3,630.0	375.0
合計	163,956	15,250			24,248.4	2,750.0

2. NPK 15-15-15

対象作物	作付面積(ha)	対象面積(ha)	施肥基準(kg/ha)	施肥回数	必要量(t)	要請数量(t)
	(A)	(B)	(C)	(D)	$(E) = (A) \times (C) \times (D) / 1,000$	$(F) = (B) \times (C) \times (D) / 1,000$
イネ	14,000	2,750	250	2	7,000.0	1,375.0
ソルガム	26,054	1,600	200	1	5,210.8	320.0
落花生	116,627	2,000	150	1	17,494.1	300.0
合計	156,681	6,350			29,704.9	1,995.0

(出所：2007 年度 2KR 要請書)

2) 対象作物・対象地域

本件における対象作物は、イネ、トウモロコシ、ミレット、ソルガム及び落花生である。これらの作物は主要食糧作物であり、主に貧困農民・小規模農民により生産されている作物であるので対象作物とすることは妥当である。

対象地域は、「ガ」国全土である。対象作物が全国的に生産されている作物であること、「ガ」国の国土面積そのものも 11,300 km² と小さいこと、「ガ」国全土がほぼ貧困地域であり、一部だけに肥料が配布されると公平性が確保されないとの観点から、対象地域を「ガ」国全土とすることは妥当である。

(2) ターゲットグループ

本件におけるターゲットグループは、全国の 37 ヶ所の地域農業普及センター (District Extension Center) が対象とする貧困農民・小規模農民である。地域農業普及センターが対象とするのは、主に 1ha 以下の農民であり、土地基本台帳のようなものはないものの、同センターに勤務する農業普及員は、裨益者が大農か小農かを承知しており、大規模農民に肥料が販売されない体制が採られている。

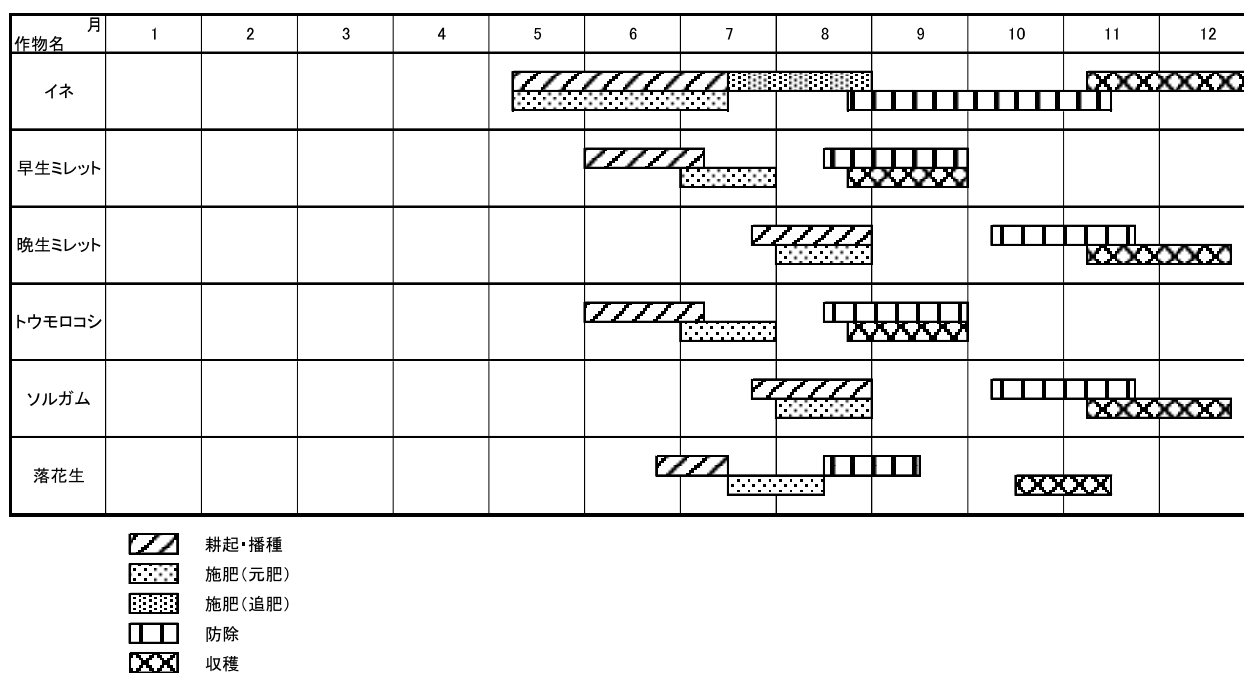
肥料販売に関しては、現金決済となるため貧困農民・小規模農民が購買力を有しているかが懸念される。しかしながら、DOSA によれば、コミュニティベースの相互扶助の金融融通やマイクロ・クレジット等を通して、貧困農民・小規模農民が肥料を購入することが可能であるとしている。

DOSA 担当者によれば、肥料を使用することにより 1ha 当りの収量はほぼ倍になることが想定され、多くの農民に肥料投入の効果が周知されていることから、短期間での販売が期待できるとしている。

(3) スケジュール案

「ガ」国の作物別栽培カレンダーは図 2-1 のとおりである。同国の雨季は 5 月中下旬頃から始まり、8 月をピークとし、10 月下旬に終わる。降水量はこの時期に集中し、700~800mm 程度である。「ガ」国の貧困農民は雨水による農法を行っているため、生産は降水量に大きく影響される。雨季時期、作物作付け時期、内陸輸送等を勘案すると、今回要請のあった肥料 2 品目は 3 月末までに現地へ到着するのが妥当である。

図 2-1 作物別栽培カレンダー



(出所：DOSA)

(4) 調達先国

2006 年度において、以下の理由から、尿素と NPK 15-15-15 の調達の適格国を OECD（経済協力開発機構）加盟国に限定することなく、「ガ」国以外全ての国とするよう DOSA より要請があった。そのため、2007 年度についても同様とする。

- ・ 調達「ガ」国内にて流通している肥料は、尿素、NPK 15-15-15 及び一部園芸用品向けの有機肥料であり、いずれも農民には知られている。イスラム開発銀行（Islamic Development Bank）融資による尿素、NPK 15-15-15 はいずれもウクライナ共和国原産のものであり、品質上の問題は発生していない。
- ・ 調達先国を「ガ」国以外全ての国と拡大することにより、入札時に応札者の数が増加し、

競争性が生まれ、低価格による肥料調達が期待できる。

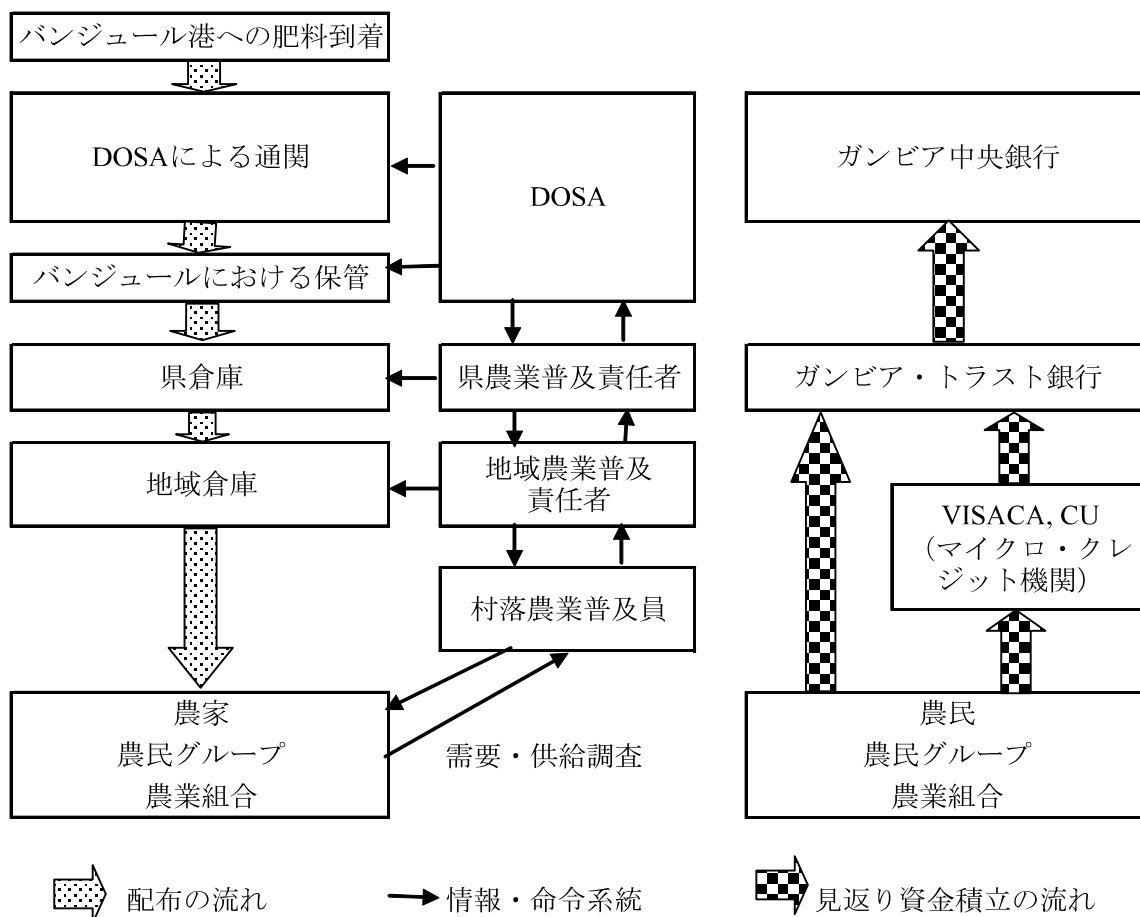
- ・ 2006 年度現地調査時に調査団から確認したところ、調達先を広げるにより低品質の肥料が輸入される可能性について、「ガ」国側は、入札図書における仕様を厳格にすることにより低品質の肥料は排除できるとしている。

2-4 実施体制及びその妥当性

(1) 配布・販売方法・活用計画

本件の販売は、2006 年度と同様の方法で行われる予定である。同年度の販売方法は図 2-2 のとおりである。

図 2-2 肥料の販売/見返り資金回収の流れ



(出所：2006 年度 2KR コミッティ資料等)

調達された肥料はまずバンジュール港よりバンジュール市内の DOSA 倉庫に保管され、NADA が配布を担当する。県地域倉庫（全国 6 農業地区）へ輸送された後、地域倉庫へ配布される。肥料の販売については、あらかじめ現地の農業普及員や村の村長が貧困農民・小規模農民であることを確認したうえで納入希望者に販売を行う。希望者は事前に地方銀行やマイクロ・クレジット機関の肥

料入金口座に入金し、その入金書を提示することにより、肥料を受領する。

なお、2006 年度に調達された肥料の配布は、本年 5 月から 6 月にかけて行われる予定であり、見返り資金の積立は本年以降行われる予定である。

(2) 技術支援の必要性

DOSA は 5 県 (6 農業地区)⁵、35 郡の 37 ヶ所に地域農業普及センターを有し、地方分権化により農業技術の普及を行う体制が整備されている。また、2006 年度現地調査時の農民へのインタビューにおいて、おおむね 1ha 当りに投入する肥料の適性基準についての知識が普及していることが確認されたため、技術支援は不要と判断される。

(3) 他ドナー・技術協力等との連携を通じたより効果的な貧困農民支援の可能性

1) 我が国の他の援助スキーム及び協力プログラムとの連携の可能性

現在まで、2KR 援助と我が国の他の援助スキーム、協力プログラムとの連携は行われていない。ただし、2006 年 1 月に終了した開発調査「ガンビア川上流地域農村開発調査」において、地域の貧困削減には、野菜生産・加工・保存プロジェクト等の生計向上アプローチが有効との指摘もあり、かかる提言を基に地域レベルでのコミュニティ主体のプロジェクトを見返り資金で支援する可能性も考えられる。

2) 国際機関、NGO のプロジェクトとの連携の可能性

「ガ」国では、2015 年までに貧困数値を半減することを目標とする MDG (ミレニアム開発目標) の達成を目指している。UNDP (国連開発計画) を中心として「ガ」国内で活動するドナー間で意見交換を行っており、食料安全保障に関しては、MDG 中の「ターゲット 2」⁶に該当し、WFP (世界食糧計画) 及び FAO との連携が重要である。特にモニタリング・評価等援助効率を高めるために関係機関と情報を円滑に交換していく必要がある。

(4) 見返り資金の管理体制

1) 見返り資金の積立・管理

見返り資金の積立にかかる責任部署は、DOSA である。2KR 肥料の販売代金は、農民・農民グループ・農民組合からマイクロ・クレジット機関経由または直接ガンビア・トラスト銀行に振り込まれる。DOSA は定期的にガンビア・トラスト銀行からガンビア中央銀行が年度ごとに開設する 2KR 見返り資金口座に送金する。2008 年 2 月 1 日現在の積み立て状況を表 2-4 に示す。

表 2-4 に示すとおり、全体的に低率の積立率となっている。2008 年 1 月に行われた 2006 年度コミッティにおいて、積立額が義務額を満たさない理由として、DOSA は、農民に対する農業機械の賃貸料を低く設定したことに加え、その賃貸料が回収できなかったこと、農薬を国家

⁵ 「ガ」国は行政としては 5 県であるが、農業地区は 6 地区となっている。

⁶ 2015 年までに飢餓に苦しむ人口の割合を 1990 年の水準の半数に減少させる。

防除用に使用したことを挙げた。2008年5月から6月にかけて肥料の配布を行い、見返り資金の積立を行う2006年度以降については、上記教訓を踏まえ、肥料販売は廉価に抑えるものの、代金の入金確認後、肥料を配布することとしている。また、DOSAは、見返り資金の積立残高証明を定期的に日本側に対し提出することを約束した。

表 2-4 「ガ」国における至近の見返り資金（2KR）の積立実績⁷

年度	E/N額	FOB額	積立義務率	積立義務額 (円)	積立義務額 (ダラシ)	積立額	積立率 (%)	積立期限
1998	170,000,000	92,362,005	2/3	61,574,670	5,730,810.00	631,625.49	11.02%	2003/12/21
1999	170,000,000	85,016,564	2/3	56,677,709	6,585,950.00	14,725.00	0.22%	2005/4/9
2000	170,000,000	134,353,333	2/3	82,902,222	10,376,206.00	643,772.13	6.20%	2006/5/24
2001	170,000,000	114,347,906	2/3	76,231,937	99,994,739.03	160,707.35	0.16%	2007/1/29
2006	140,000,000	102,467,200	1/2	51,233,600	12,102,106.00	0.00	0.00%	2010/3/5
合計	820,000,000	528,547,008		328,620,138	134,789,811.03	1,450,829.97	1.08%	

(出所：DOSA)

2) 見返り資金の使用

見返り資金の使用については、DOSAがプロジェクトを選定し、DOSFEAの承認を得て、外務省を通して、在セネガル日本国大使館へ申請される。本邦外務省承認後、DOSAはDOSFEAに対し資金執行申請を行い、ガンビア中央銀行の口座よりプロジェクト資金が支払われる。

2KRの見返り資金の積立額が小額のため、現在まで使途申請はなされていないが、今後はKRと2KRの積立資金を合算して使用する予定である。現在計画されているプロジェクトは、2007年1月に行われたDOSA内の組織改変に伴う必要な設備の建設、農業改良センターの整備等である。

(5) モニタリング評価体制

本件のモニタリングと評価については、DOSA内のNADAが総括を担当し、5県(6農業地区)・37地域の農業普及センターがモニタリング・評価を実施する計画となっている。配布肥料の対象となる農民は、主に1ha以下の小規模農民であり、地域農業普及センターに配置されている村落農業普及員が随時訪問し、状況を把握する予定である。

(6) ステークホルダーの参加

DOSA、NGO(非政府組織)から構成されるJoint Monitoring Teamが農村に派遣され、農業全般にかかる農村農業事情がモニタリングされる予定である。2006年度で調達された肥料の配布後に同チームが農民より意見を聞き、今後の農民支援に活用される予定である。

⁷ 1998年度の積立額は推定値。

(7) 広報

2KR の広報は、E/N（交換公文）署名時、肥料到着時等の機会に、新聞、ラジオにて報道され、広報が行なわれている。

なお、2006 年度の肥料の到着は、テレビ、ラジオを通じて国民に伝えられた。

(8) その他（新供与条件について）

「貧困農民支援」にかかる新供与条件は、①見返り資金の外部監査の導入、②見返り資金の小規模農民・貧困削減への優先使用、③ステークホルダーの参加機会の確保、④年 2 回の連絡協議会の開催、である。

1) 見返り資金の外部監査

入札により選定された外部監査機関により 2005 年度 KR の外部監査が実施された。2006 年度 2KR においても外部監査が導入される予定である。

2) 見返り資金の小規模農民・貧困削減への優先使用

見返り資金の小規模農民・貧困削減への優先使用については 2006 年度の現地調査時に確認済み。ただし、前述のとおり同調査以降の見返り資金の使用実績はない。

3) ステークホルダーの参加機会の確保

2006 年度の現地調査において、同年度の要請内容のとりまとめや見返り資金プロジェクトの計画立案にあたり、5 県（6 農業地区）・37 地域の全農業普及センターと密接なやりとりを行っていることが確認されている。

4) 年 2 回の連絡協議会の開催

2008 年 1 月に行われた 2006 年度コミッティにおいて、連絡協議会はコミッティを含め年 2 回開催することが確認された。

第3章 結論と提言

3-1 結論

「ガ」国は、他の西アフリカ諸国との比較において、ガンビア川兩岸の恵まれた水利条件であるにも関わらず、肥料・農業機械等の農業資機材の不足、灌漑の未整備等諸要因により、全般的に農業生産は停滞している。低生産性の解決策の中で、肥料は最も重要とされている資材である。

「ガ」国では肥料の自国生産を行っていないため全て輸入に依存しているが、近年のガンビアダラシの下落や外貨不足により民間市場において調達が困難となり、その価格は高騰傾向にある。そのため、貧困農民・小規模農民は肥料の入手に支障を来している。

以上のような状況のもと、同国政府は VISION 2020 及び PRSP（貧困削減戦略文書）等、貧困の削減を目指した長期計画を策定し、食糧作物の増産による食料安全保障の確保及び農村における雇用確保と所得向上を最優先課題として位置付けている。DOSA は同計画に基づき、2KR 肥料の販売にあたり民間市場に比し安価な価格を設定し、現金収入の少ない貧困農民・小規模農民に肥料購入機会を提供することで、肥料投入による食糧作物の増産及び余剰生産物の市場売却による現金収入の向上をめざしている。

今回の 2KR の要請は、前述の長期的ビジョン及び DOSA のこれまでの取組みに沿ったものである。また、前述のとおり同国における肥料の需給関係の現状からみても、同国政府から要請のあった数量は、妥当な数量と判断される。

2005 年度より、2KR の名称が「食糧増産援助」から「貧困農民支援」と変更され、従来の目的であった持続的な食糧増産に加え貧困農民への重点支援が新たに追加され、貧困農民・小規模農民を裨益対象とした受益国における実施体制が求められている。DOSA は 2KR の実施にあたり、肥料の市況動向をふまえて貧困農民・小規模農民に手の届く販売価格を設定しており、村落農業普及員によるモニタリング、フォローアップ体制の強化等、貧困農民への支援をより重点化しており、貧困農民・小規模農民に対する裨益効果をふまれば本年度 2KR の実施は妥当である。しかしながら、これまでの見返り資金の積立は低率に留まっているため、その実施にあたっては DOSA による今後の見返り資金の積立状況を見極める必要がある。

3-2 課題・提言

過去に実施された 2KR の見返り資金の積立は、毎回積立義務額を下回っており、1998 年度の積立額は現時点で不明であり、また 1999 年度及び 2001 年度の見返り資金積立は義務額の 1%以下、2000 年度は 6%に留まっており、積立義務額に対して実績が大幅に下回っている。DOSA はその理由として、2KR の農業機械の賃貸料の未回収、2KR 農業の国防除への転用等を挙げている。

2006 年度に調達された 2KR 肥料については、2008 年 5 月から 6 月にかけて販売され、見返り資金の積立はこれから開始される予定である。しかしながら、これまでの実績、2006 年度の現地調査から、「ガ」国側の販売体制及び見返り資金の積立システムが十分機能するかどうか判然としない状況である。

このため、「ガ」国における 2KR 実施に関しては、貧困農民・小規模農民に対する裨益効果の確認に加え、2KR 肥料にかかる販売体制、見返り資金の積立状況を確認する必要があり、2006 年度の

2KR 肥料販売後に現地調査を行った上で、その妥当性を改めて検討すべきである。

対象国農業主要指標

I. 国名				
正式名称	ガンビア共和国 Republic of The Gambia			
II. 農業指標				
		単位	データ年	
総人口	151.70	万人	2005年	*1
農村人口	117.40	万人	2005年	*1
農業労働人口	59.70	万人	2005年	*1
農業労働人口割合	77.30	%	2005年	*1
農業セクターGDP割合	33.00	%	2005年	*10
耕地面積/トラクター一台当たり	7,000.00	ha	2003年	*2
III. 土地利用				
総面積	113.00	万ha	2003年	*3
陸地面積	100.00	万ha (100%)		*3
耕地面積	31.50	万ha (31.5%)		*3
永年作物面積	0.50	万ha (0.5%)		*3
灌漑面積	0.20	万ha	2003年	*3
灌漑面積率	0.60	%	2003年	*3
IV. 経済指標				
1人当たりGNP	290.00	US\$	2005年	*10
対外債務残高	6.70	億US\$	2005年	*11
対日貿易量 輸出	1.01	億円	2006年	*12
対日貿易量 輸入	5.58	億円	2006年	*12
V. 主要農業食糧事情				
FAO食糧不足認定国	否認定		2005年	*9
穀物外部依存量	14.30	万t	2004/2005年	*9
1人当たり食糧生産指数	103.70	1999~01年 =100	2004年	*6
穀物輸入	10.20	万t	2004年	*4
食糧援助	0.70	万t	2004年	*5
食糧輸入依存率	70.97	%	2004年	*4
カロリー摂取量/人日	2,536.57	kcal	2005年	*7
VI. 主要作物単位収量				
穀物	1,040.30	kg/ha	2005年	*8
米	1,003.41	kg/ha	2005年	*8
小麦	n. a.	kg/ha	2005年	*8
トウモロコシ	1,051.71	kg/ha	2005年	*8

- *1 FAOSTAT database-Resource-PopSTAT-annual time
 *2 FAOSTAT database-Data Archives-Means of Production-Agricultural Machinery 19 January 2006
 *3 FAOSTAT
 *4 FAOSTAT database-Data Archives-Trade-Crops & Livestock Primary & Processed 21 December 2005
 *5 FAOSTAT database-Trade-Food Aid (WFP) Shipments
 *6 FAOSTAT database-Data Archives-Production -Agricultural Production Indices 24 April 2006

- *7 FAOSTAT database-SUA/FBS-core FBS data-Calories/Capita/Day
 *8 FAOSTAT database-Production-ProdSTAT-Crops
 *9 Foodcrops and Shortages No.3, October 2005
 *10 World Bank
 *11 Global Development Finance 2007
 *12 外国貿易概況 2/2007号